

# 住友山田社宅保存活用計画（案）



住友山田社宅全景 平成 14 年 撮影

新居浜市





口絵 1 別子鉱業所長社宅全景



口絵 2 別子鉱業所長社宅 応接棟方向



口絵 3 住友化学幹部社宅全景



口絵 4 住友化学幹部社宅 玄関方向

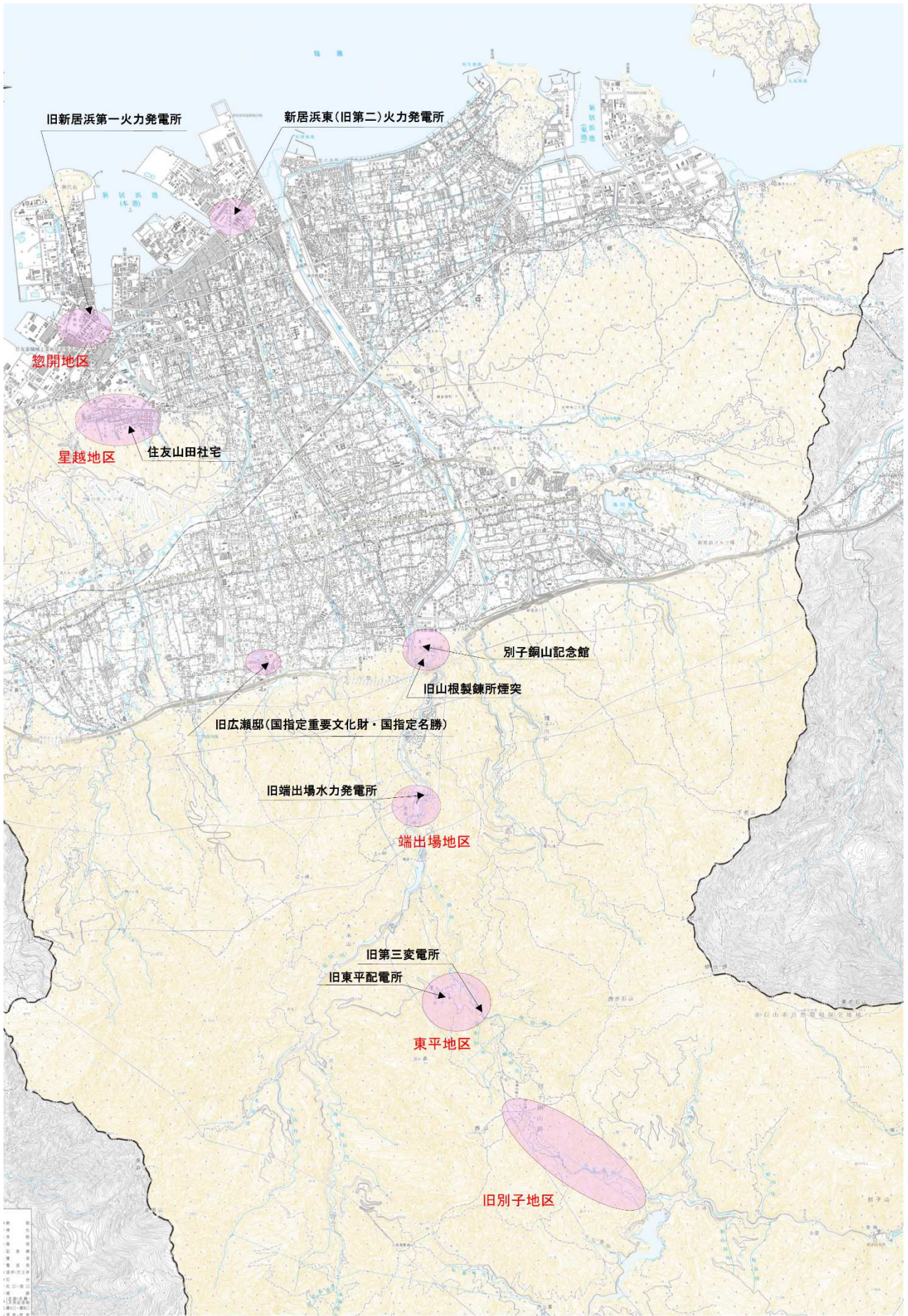


口絵 5 外国人西社宅



口絵 6 外国人東社宅





この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号平15四複、第156号)

口絵 7 住友山田住宅関係図





## 例 言

1. 本計画は「重要文化財（建造物）保存活用計画策定指針」（平成 11 年 3 月文化庁文化財保護部）に準拠し、必要に応じて計画の標準項目の追加及び削除を行って策定した。
2. 本計画策定にあたり、「新居浜市山田社宅保存活用計画策定委員会」（以下「策定委員会」という。）を新たに設置し、外部有識者の専門的な指導・助言を得て策定した。また、市民主体で構成された「新居浜市山田社宅保存活用検討委員会」の意見をふまえて作成した。

### 山田社宅保存活用計画策定委員

	氏名	所属	専門分野
委員長	末岡 照啓	住友史料館副館長 広瀬歴史記念館特別顧問	日本近世・近代史 別子銅山全般研究
委員	清水 真一	徳島文理大学文学部教授	日本建築史
委員	矢ヶ崎 善太郎	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科准教授 (現 大阪電気通信大学工学部建築学科教授)	日本建築史
委員	花岡 直樹	株式会社花岡直樹建築事務所	文化財建造物保存設計

### 山田社宅保存活用計画技術指導者

	氏名	所属	専門分野
技術指導	富永 善啓	株式会社文化財構造計画	文化財建造物保存設計

3. 本計画の策定にあたり、新居浜市は住友林業ホームテック株式会社に委託した。
4. 本計画書の執筆担当は、以下のとおり。

編集：別子銅山文化遺産課、住友林業ホームテック株式会社

本文執筆

第 1 章 住友史料館副館長 末岡 照啓

第 2 章～第 7 章 策定委員会、住友林業ホームテック株式会社、別子銅山文化遺産課

### — 参考文献 —

『別子銅山が育んだ山田社宅』現況調査報告書 平成 22 年 3 月

### — 凡例 —

社名（略称）	
住友金属鉱山(株)（鉱山）	住友林業(株)（林業）
住友化学(株)（化学）	(株)住友倉庫（倉庫）
住友重機械工業(株)（重機）	住友生命保険(相)（生命）
三井住友建設(株)（建設）	三井住友海上火災保険(株)（海上）
住友共同電力(株)（共電）	三井住友信託銀行(株)（信託）
三井住友銀行(株)（銀行）	

なお、社名は同一ページ内で複数回表記される場合は、略称を使用するものとし、それ以外は使用しないことを基本とする。

## 目次

口絵

発行にあつて

例言

目次

### 第1章 住友山田社宅の歴史的意義

1. はじめに
2. 別子銅山と住友社宅の変遷
3. 住友山田社宅の歴史的意義
4. むすび

### 第2章 計画の概要

1. 計画の作成
2. 対象物件の名称
3. 住友山田社宅の概要
4. 住友山田社宅保護の経緯
5. 保護の現状と課題
6. 計画の概要

### 第3章 保存管理計画

1. 保存管理の現状
2. 保護の方針
3. 建物の保存に係る部位の設定
4. 管理計画
5. 修理計画
6. 修理の方針

### 第4章 環境保全計画

1. 環境保全の現状
2. 環境保全の課題
3. 環境保全の計画区域と基本方針
4. 計画区域外の環境保全について
5. 建造物の区分と保護の方針
6. 工作物の保護の方針
7. 工作物等の課題と対策

## 第5章 防災計画

1. 防火・防犯対策
2. 耐震対策
3. 耐風対策
4. その他の災害対策

## 第6章 活用計画

1. 公開その他の活用の基本方針
2. 公開計画
3. 活用基本計画
4. 実施に向けての課題の整理
5. 課題への対応

## 第7章 保護に係る諸手続き

1. 登録有形文化財に係る諸手続き

## 資料編

1. 社宅企業別区画図面
2. 社宅の変遷
3. 古写真
4. 施工報告書
5. 修理の方針（部位の設定）

